

耳原総合病院

研修医

のご紹介

- ①出身地 ②現在興味のある科
③研修を選んだ理由 ④研修に対する思い

曾我部 祐輔 (鳥取大学)

- ①大阪府
②小児科
③耳原HPの西田先生のインタビュー記事を読み、実際に見学させて頂き、研修医に対する十分なサポートがあり、主体的に学ぶことができる、と感じたため。
④現在、小児科、特に神経疾患を専門とすることを考えています。経過の長い疾患が多い領域であるので、患者さん、そのご家族の心理的なサポートをきっちり行える医師になりたいです。

西野 安紀 (金沢医科大学)

- ①大阪府
②外科系、内科系
③耳原HPより、研修医1年目から「主治医制度」や研修医同士の症例発表や勉強会への参加など、研修医の積極的なモチベーションや、研修医への指導が充実している点に関心を持ったからです。
④現在のところ外科への興味が強いのですが、僻地医療などの地域医療にも関心があります。どの分野の医師になっても、患者さんの距離をできるだけ近くに、信頼を第一にして、患者さんのための医療を行える医師になりたいです。

高木 力 (高知大学)

- ①大阪府
②精神科、家庭医 etc
③病院見学の際に、研修医の先生方が充実している様子で、働く姿を目にして是非、ここで研修生活を送りたい、と感じました。
④患者さんと笑顔が共有できる医師。当たり前のことを当たり前こなせる医師。

田中 陽子 (鹿児島大学)

- ①大阪府
②内科、精神科
③耳原の実習に参加した時、研修医に対する教育体制がしっかりしていること、地域に根ざした医療を実践していると感じ、ここで働きたいと考えました。
④一般内科医として一次医療に携わり、特に働く人々のストレス性の疾患の診療に携わることで心身両面に携わる医師になりたいです。

藤原 早苗 (帝京大学)

- ①京都府
②小児科
③耳原HPを拝見し、実際に見学するなかで、屋根瓦方式の指導体制、研修医をひとりにならない、という体制が魅力的であり、安心して研修できると考えました。
④誰からも信頼され、常に患者さんの目線に立って物事を考えることができる医師になりたいです。

渡辺 昭雄 (奈良県立医科大学)

- ①大阪府
②内科系 他
③近畿厚生局研修病院説明会、見学を通じて「症例数の多さ」「ERがある」「common diseaseを沢山診れる」「様々な手法が経験できる」と感じたから。
④患者さんの痛み、つらさを真にわかってあげられる医師になりたいです。

杉本 雪乃 (高知大学)

- ①大阪府
②循環器内科、小児科 他
③昨年2月の耳原ICLS、8月に学生向けICLSに参加しました。学生の為に大勢の方が集まって下さり、病院全体が、教育熱心だと感じました。大矢亮先生にも色々お話を聞きこのような全例の無い企画を実現させる「パワー」がある耳原で研修したい、と思いました。
④自分の専門分野以外も一定の部分までは理解し、専門家の力を借りた方が良い時点で判断できる医師になりたいです。

ぱとあ INFORMATION インフォメーション



Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

NEW FACE

4月より新しく就任いたしました医師です。よろしくお願ひ致します。



氏名 吉岡 篤志

診療科 整形外科

専門分野 一般整形
脊椎(顕微鏡下除圧術)
人工膝関節所属学会 日本整形外科学会
ISTA

氏名 坂野 恵里

診療科 泌尿器科

専門分野 泌尿器科全般

所属学会 日本泌尿器科学会
日本透析医学会
日本臨床腎移植学会

氏名 金子 愛子

診療科 小児科

専門分野 小児科
家庭医療所属学会 日本プライマリケア連合学会
日本小児科学会

耳原総合病院 地域医療課

直通電話 072-241-0324
直通FAX 072-241-0208

- 「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。
■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。



認定:2003年11月17日



認定:2005年12月13日



認定:2005年12月13日



2011年6月10日発行

■発行人/松本 久 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)
URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針は
「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です

ぱとあ

耳原総合病院機関紙

vol.110
2011.6.Jun

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
♥無差別、平等の医療
♥患者負担の少ない医療
♥地域とともに歩む専門職の育成



民医連

積極的に治療した方が良い病気

そ けい
鼠径ヘルニア(脱腸)
について外科部長
山口 拓也

ヘルニアというと、腰の椎間板ヘルニアをおもわれる方が多いと思いますが、ここではいわゆる脱腸(鼠径ヘルニア)です。鼠径ヘルニアの鼠径部とは下の図のように足の付け根の辺りをさします。鼠径ヘルニア(脱腸)は子供の病気と思われがちですが、成人にも多く、手術以外、治療方法がありません。痛みも少なく短期入院で済む新しい手術方法が普及してきており、生活の質を考慮すれば、積極的に治療した方が良い病気です。

鼠径ヘルニア(脱腸)とは

「ヘルニア」とは、体の組織が正しい位置から出っ張った状態をいいます。「そけいヘルニア(鼠径ヘルニア)」とは、本来ならお腹の中にあるはずの腹膜や腸の一部が、多くの場合、鼠径部の筋肉の間から皮膚の下に出てくる下腹部の病気です。従来からよく「脱腸」と呼ばれている病気です。

鼠径ヘルニア(脱腸)の症状

初期のころは、立った時とかお腹に力を入れた時に鼠径部の皮膚の下に腹膜や腸の一部などが出てきて柔らかいのはれが出来ますが、普通は指で押さえると引っ込みます。太ももや足のつけね(鼠径部)に何か出てくる感じが、お腹の中から腸が脱出してくるので「脱腸」と呼ばれています。次第に小腸、大腸などの臓器が出てくるので不快感や痛みを伴ってきます。はれが急に硬くなったり、膨れた部分が押さえても引っ込まなくなることが

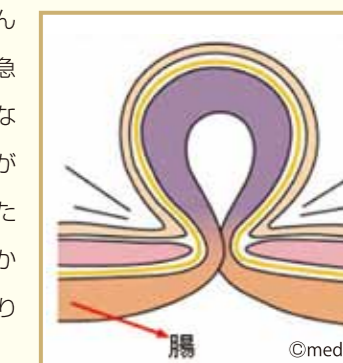
鼠径ヘルニアの位置



鼠径ヘルニア

©medisuke

あり、お腹が痛くなったり吐いたりします。これをヘルニアの嵌頓(かんとん)といい、急いで手術をしなければ、腸などが壊死して腐ったりして、命にかかわることになります。



腸

©medisuke